

玉川大学 大学院 教育学研究科

乳幼児教育研究コース



幼児教育や保育の世界は子ども・子育て支援新制度および教育要領等3法令の改訂（改定）によって大きな変革の流れの中にあります。このような時代の趨勢を踏まえ、乳幼児教育研究コースは、大学の学部卒業者はもちろん、幼児教育・保育の実践の場で働く方や、主任・園長など中核になる方の研究の方向性を視野に入れたカリキュラムを提供していきます。

昼夜開講科目を
自分の都合で選択

夜間開講は月・金曜日
(週2日) 18:20~20:50

夏季・冬季等に
集中講義を開講

2年間で修了を目指す
※条件により専修免許取得が可能

教育学研究科
他の研究領域

IB(国際バカロレア)研究

【主な科目*】
• IB教師教育
• IB教育実践研究 等

教師教育学研究

【主な科目*】
• 教職課程マネジメント研究
• 教員養成・研修制度研究 等

*主な科目は2017年度現在のものであり、今後変更される場合があります。

VOICE



石井美和（修士2年）

横浜市の私立幼稚園担任教諭。現場経験5年目。
修士論文テーマ「保護者の保育受容過程の研究
—遊びの保育を中心に—」
遊びの保育を親がどのように受け入れていくのかが問題意識としてあったため、ドキュメンテーションを作成し、インタビュー調査を行いました。



清水淳一郎（修士2年）

神奈川県私立保育園の園長。
修士論文テーマ「保育所・認定こども園における
地域交流の研究」
私の園では地域交流を積極的に行っており、その実態と課題について問題意識を持ち、調査研究を行いました。

受講生の特徴

保育所・幼稚園等の園長、主任、担任保育者、
学部からの進学生、子育て最中の母親 等。

修了後の進路

大学・短期大学等の教員、保育現場のリーダー、
進学 等。

乳幼児教育研究コース担当教員

若月 芳浩・大豆生田 啓友

★★
夜間開講して
います!★★



大学院奨学金制度について

学業を進めるためには経済的負担が伴います。アルバイトなどで必要経費の一部をまかなうという方法もありますが、過度のアルバイトは、学業に支障をきたしかねません。そこで学業優先の視点から、必要な経費の一部を確保するための経済援助「奨学金制度」があります。奨学金には給付（返還義務のないもの）と貸与（返還義務のあるもの）とがあり、それぞれ条件が設けられています。例えば、学内奨学金（給付）は、奨学金を受け取るには学業、人物ともに優れていることが条件となります。

■ 学内奨学金

奨学金名	募集時期	対象学年(定数)金額	主な条件	期間
大学院奨学金	4月	修士1年生(25名)* 年額20万円(給付)	学業的・ 人物的に 優れて いるもの	採用年度 (1年)
		修士2年生(12名)* 年額25万円(給付)		
		博士(10名)* 年額50万円上限(給付)		

※表内の(定数)は、全研究科を合わせたものになります。
このほかにも、日本学生支援機構の募集する大学院生を対象とした奨学金（貸与）などもあります。詳しくは入学後、学生センターにお問い合わせください。

